



札幌部会(第4回)

日時:	2012年9月1日(土) 14:30-17:30
場所:	Sapporo55ビル5階 キャリアバンクセミナールーム
参加者:	篠原(同志社大)、野間(同志社大)、濱地(道教大札幌校)、川瀬(札幌開成高)、松澤(札幌藻岩高)、今野(北海道札幌丘珠高)、吉川(北海道登別明日中等)、山下(札幌市立啓明中)、菅谷(道教大附属札幌中)、清水(札幌市立平岡中央中)、小林(札幌市立稲陵中)、山本(札幌市立厚別北中)、山崎(北海道豊富高)、[順不同]

【内容要旨】

- 篠原先生より、「夏の経済教室」の内容、福井、稚内等でのワークショップの予定について説明があった。併せて、来年度の「夏の経済教室」の北海道での開催の是非について話し合われた。証券業協会の主催行事との兼ね合いを考えながら、今後も検討していくこととなった。
- 野間先生より、「中学教科書で教える経済の仕組み」の資料に基づいて、中学校公民教科書を読み解き、よりよい仕組みを考えるのに妨げになっている消費、企業、金融の内容について講演があった。この中で、野間先生が作成したよりよい仕組みを考えさせる表(道具)を使ったアプローチが紹介された。そして、よりよい仕組みとは「効率性が高く公正であること」であり、効率と公正はトレードオフではないことが指摘された。
また、参加者どうしの議論では、非効率な企業や農業にも生存権があるとして守る論理や、農地改革の負の面を教えないことが、仕組みを考える妨げになっているのではないかというコメントがあった。
- 山下先生より、「経済から見た『高等学校入学者選抜学力検査問題』」の資料に基づいて、授業において思考力・判断力・表現力を伸ばすことが求められているながら、入試では無難な出題が多く、出口と授業が不一致になっている現状が説明された。
このことに関わって、清水先生がご自身作成のマトリクスを使い、入試の出題傾向について説明された。その後、中学、高校のそれぞれの教員の視点から、難易度、出題内容について議論した。
- 時間の都合上、経済からみる歴史シリーズの篠原先生による講演「金本位制、禁輸出禁止・解禁、高橋財政 井上財政」は、次回に持ち越しとなった。
- 川瀬先生より、次回の宿題として、以下の2点が提示された。
 - ① 経済問題の考査問題を、1つ2つ持ち寄ること
 - ② 高校入試問題の改善を行うために、思考力・判断力・表現力を養う問題を仮に作成して持ち寄ること

(文責:山崎 辰也)

次回開催予定: 11月10日(土)14:30~16:30。場所はSapporo55ビル5階キャリアバンクセミナールーム。
議題は、中高考査問題の分析、高校入試問題の改善、篠原先生の講演、参加者からの活動報告、その他。